



2023年2月に奄美大島大和村にて「JALふるさとワーキングホリデー」を実施

～地域農業の収穫の手伝いや地域交流などを通じて、関係人口拡大を目指します～



2週間の地域暮らし体験!
JALふるさとワーキングホリデー
参加者募集中

JALは、「[JALふるさとプロジェクト](#)」の一環として、2023年2月12日(日)～2月25日(土)の期間中、奄美大島大和村にて、関係人口拡大による地域活性化を目指し、「JALふるさとワーキングホリデー」(*1)を実施します。地域に想いを寄せる都市部の人々を対象に参加者を募集し、奄美大島大和村で収穫される柑橘類の「たんかん」収穫作業の手伝いや地元の方々との交流、島暮らし体験などを通して、持続可能な地域の在り方や将来的な地域移住を考えていただく機会を提供します。また、観光や地域体験などより深く地域を知っていただける時間をご用意します。

なお、当事業は、受け入れ先地域の自治体様、関係団体のご協力のもと、令和4年度農林水産省の農山漁村振興交付金の採択を受け、JALが実施する「[農山漁村関わり創出事業](#)」となります。

(*1) 2022年7月15日付プレスリリース 第22031号『関係人口拡大による地域活性化を目指し、「JALふるさとワーキングホリデー」を実施』
<https://press.jal.co.jp/ja/release/202202/006540.html>

また、地域課題の解決支援、関係人口の拡大に向けて、持続可能な取り組みとすべく、地域が必要とする労働力・スキルを有する人財のマッチングプラットフォームの構築についても検討してまいります。

JALは日本の翼として、これからも地域社会に寄り添い、人と社会と世界をつなぐプログラムの実施によって地域活性化に貢献するとともに、豊かな地球を次世代に引き継ぐため取り組んでまいります。

■「JALふるさとワーキングホリデー」 鹿児島県奄美大島大和村 実施概要

スケジュール : 2023年2月12日(日)～2月25日(土) ※2日間の移動日を除き、研修10日間、休日2日間

研修内容 : たんかんの収穫、選果・選別、出荷作業
マンゴー園の栽培管理、原木シイタケの収穫体験
たんかん、すももを加工する6次産業化施設での実習
持続可能な地域資源開発について考えるワークショップ など

研修時間 : 9:00～13:00または13:00～17:00(半日、4時間程度)

宿泊 : 大和村の民宿、フォレストポリスのバンガロー施設

募集人数 : 20名程度
※応募が多数となった場合は、募集を終了し、厳正なる抽選のうえで参加者を決定します。

募集対象 : 応募時点で、18歳以上60歳未満の方

費用 : 現地までの往復交通費、宿泊費用、研修費用は無料
※自由行動時のアクティビティ参加費などは参加者各自にてご負担いただきます。

応募方法 : 専用サイトよりご応募ください。専用サイトURL <https://japan.jal.co.jp/workingholiday/>

申込期間 : 2022年12月2日(金)～2023年1月22日(日)

